

山岳 おおさか

<http://sangaku-osaka.com/>

No.218

大阪府山岳連盟は2016年に創立70周年を迎え、一般社団法人に移行致しました。今後、より公益性、社会性の高い法人として、登山を始め山岳スポーツの普及と発展に努めてまいります。



ホームページ Eメール

平成30年秋号 2018年10月1日発行 | 〒537-0014 大阪市東成区大今里西2-5-12 TEL 06-6973-3675 FAX 06-7504-4214 yamaosaka@hera.eonet.ne.jp

New

道迷い遭難防止に役立つ…「ナビゲーション力(地形と地図を読む力)」を高めよう!

第1回～2回で、地形図と実際の登山道とは様々なズレがあることを説明してまいりましたが、第3回は現場で見る情報を活かして地形の特徴を掴み、完全に迷った場合、地図の中

ら、どのように現在位置を絞り込んでいくのか、その方法を解説します。さあ、「ナビゲーション力」を少しずつ身につけ、道迷い遭難防止に役立てていきましょう。

第3回のテーマ

現場で見る地形情報を活かして、「現在地をつかむ」

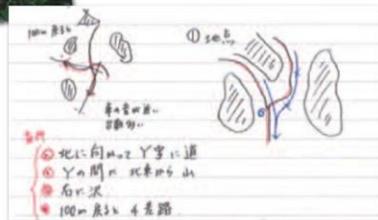
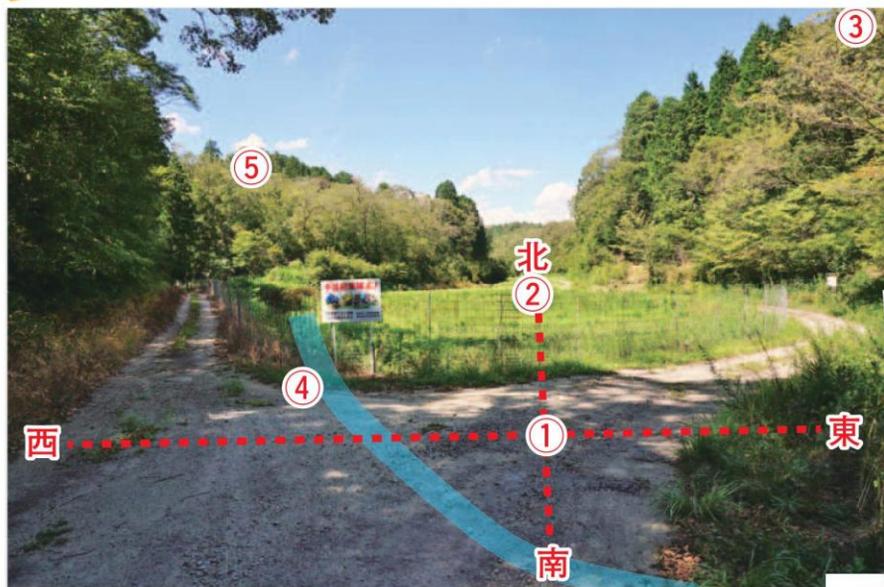
〈初・中級編〉

取材協力者の5名には、自動車による現地までの移動中少しの間だけ目隠しをしてもらい、車中からは現地が推測できないよう、その場で初めて景色を見てもらうようにしてもらいました。

また今回は、目印となる鉄塔、シンボルとなる高い山や大きい川などが無い、似たような景色が続く里山で行い、現場から見える地形情報を整理して、現在地を推察してもらいました。



Checkpoint 景色の特徴をチェック!



単にメモを取り、情報を整理しておきます。ちょっとした絵にすると、あとで解りやすいですよ!

現場に到着。まずまわりの景色を丹念に観察します。目の前にはY字の三叉路と奥行きのある開けた谷があります。谷はコンパスを当てると、北を指しています。すぐ右手には小高い山。さらに耳を澄ませると沢の音が聞こえ、左手の道沿いに、生茂った草に隠れた小川が三叉路を横断していました。また上流側のすぐ先には丘のような台地があります。

景色の特徴をまとめると、①三叉路(現在地)、②北方向に開けた谷、③北東すぐに小高い山、④北北西から流れている小川が三叉路を横断、⑤小川のすぐ先北西に台地、となりました。この条件の揃ったところが現在地です。

〈前ページより〉

次に地図(※1)で確認してみましょう。まず大きな特徴である①三叉路と②北に広がる谷で探してみると、A、B、C、Dの4カ所が該当しました。



C



D



A



B

| 地図と特徴 | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ |
|-------|---|---|---|---|---|
| A | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| B | ○ | ○ | ○ | △ | △ |
| C | ○ | ○ | ○ | × | × |
| D | ○ | △ | × | × | × |

(※1) この掲載範囲は約4km四方(※2) 1/25000地図では等高線は10m間隔

個別に詰めると、AとBは類似していますが、Bは④小川の方、⑤台地が小川の先にあるという条件が一致しません。Cは④小川が三叉路を横切っていませんし、⑤山の高さが違います。Dは、②三叉路から谷は北東から北北東に延びており傾斜もあります。③三叉路から北東へは等高線1本(※2)の台地程度のもので、④小川がありませんし、⑤山の高さが違います。これで、現在地はAであることが推察できました。



Checkpoint 道の特徴をチェック!

更に現在地の精度を高めるために三叉路を左にとり、1本道を先に進みます。しばらく歩いていると、⑥北西に延びているゆるやかな峠に行きつきました。



地図(※1)で確認すると、⑥峠からの道の特徴と距離(※3)が大体一致しました。これで、①の三叉路から歩みを進め、⑧にいたことが確定しました。

峠を越えると⑦道はゆるやかに南西(左90度)へ曲がりました。その先で今度は⑧ゆるやかに北西(右90度)へ曲がり、その地点で雑木林から一転して景色が開けました。その間、峠からわずか7-8分。距離にすると約250m(※3)というところです。

(※3) 時速約2kmで歩行。1/25000地図で距離は1km=4cm

